しまね産業活性化戦略
第1次とりまとめ

（概要版）

NEW

Ⅰ　ものづくり産業の振興

A　新産業創出戦略

○ 研究開発体制の惰弱な中小企業に替わって、県が研究開発のリスクを負担し、先導的に新技術を開発
○ 産業技術センタが担当

今後の展開

○ 各プロジェクトの事業化の推進
○ ２～３年後には各プロジェクトの今後の方向性を見直し
→ 継続・転換・縮小・廃止

B　県内企業の強化支援

○ 県内の中小企業の経営力を強化するため経営革新事業などを使って中核企業を支援
○ 重点支援企業数は105社、過去３年間で付加価値額は36億円増加
○ 主に産業振興財団が担当

今後の展開

○ 今後は生産革新を重点的に支援
○ 戦略的な企業間のアライアンスの構築を支援

C　企業誘致

○ 現在の企業誘致制度で平成16年度から平成18年度にかけて誘致件数が高水準で推移。（21社、24社、16社）
○ 立地企業にきめ細かく要望を聞いて回り企業からの評判は良好

今後の展開

○ 産業クラスター形成を支援するため、業種を決めて誘致を図る。
○ 県営工業団地の立地環境等の向上

Ⅱ　IT産業の振興

D　IT産業の振興

○ ＩＴ中核人材育成支援（組込ソフト、Ruby）事業を実施

今後の展開

○ Rubyを活用したソフト開発の受け皿会社の設立
○ ＩＴ人材の育成
○ 企業誘致

Ⅲ　地域資源を活用した産業の振興

E　地域資源を活用した産業の振興

○ 地域に固有な資源である自然や文化、農林水産物などを使って、観光や県産品などの振興を図る。
○ 観光では過去３年の施策で入り込み客数11.3%増
○ 県産品では過去３年の施策で４億円近くの付加価値額が増加

今後の展開

(県産品の販路開拓、拡大)
○ 商品・小売店情報等のデータベース化による販売促進
(観光の振興)
○ 着地型観光を担う民間主体の強化
(中小企業の振興)
○ 再生支援、経営基盤強化支援体制の充実